

福井市議会議員 浦上はやと 議会報告

Uragami Hayato
NEWS
vol.9

みなさん、こんにちは！
浦上はやと
福井市議会議員の浦上逸人です。

食品を始めとした物価高による家計の負担は年々大きくなっており、全国的な課題となっています。当市は「物価高騰対策」として、国の交付金を活用し「お米券」や「商品券」を配布する事業の予算を3月議会の議案としていたため、その事業内容などについて定例会の一般質問で取り上げました。
また、その他にも市民の方々からの指摘をベースに、一般質問では「自治会」「県や市町との連携」について、予算特別委員会では「空き家」「除雪」について質問しました。

浦上はやと議会報告vol.9では、3月議会などの議会活動について、ご報告いたします。



主な議会スケジュール 【令和8年 3月～6月】

- 3月**
3月定例会
・一般質問 ・常任委員会
・予算特別委員会
- 4月**
議員全員集会
- 5月**
議員全員協議会
- 6月**
6月定例会
・一般質問 ・常任委員会

浦上はやと 日々の活動

【令和7年12月～令和8年2月】

毎朝の「見守り活動」や「清掃活動」の他、地域行事などに参加し、市民の方からのご意見やご要望などをヒヤリングしています！



▲公民館 年賀会



▲老人クラブ連合会 新年会



▲通学路の安全点検



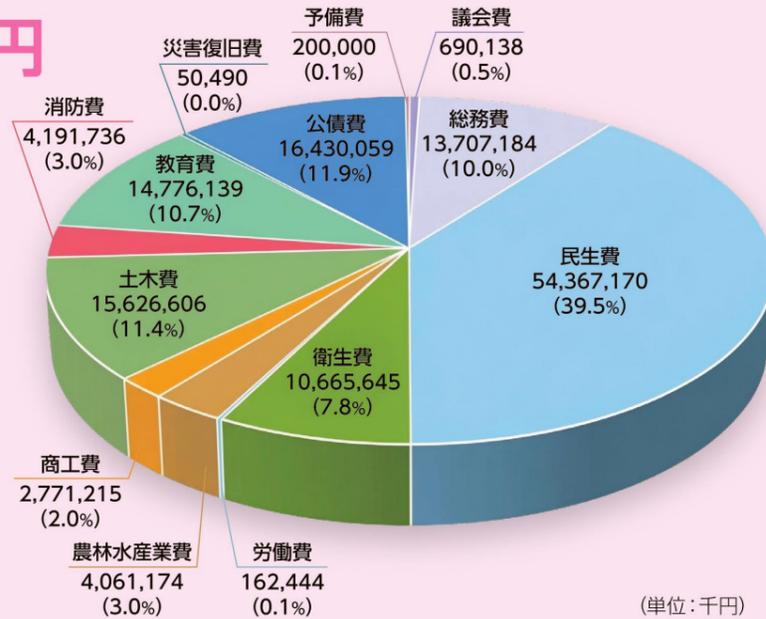
▲自治会連合会 総会

特集 令和8年度 新年度予算(一般会計)

総額1,377億円

概要:

- 額は昨年度とほぼ同水準【-1.7%】
- 障害福祉サービスなどにより民生費が増【+2.8%】
- ハピライン新駅整備などで土木費が増【+4.4%】
- ごみ処理施設整備事業など大型公共事業のため令和5年以降、市債残高が右肩上がりに増加【R4:831億円→R8:1,126億円】



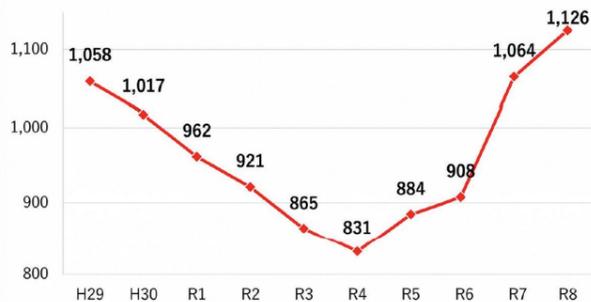
■新ごみ処理施設 (R9.9から稼働予定) 【総工費:約277億円】



施設完成イメージ図

市債残高

【単位:億円】 ※臨時財政対策債を除く



市民の方々から連絡をいただいた道路の損傷などの補修・改修を要望し、改善されました



▲河川敷に距離表示の再設置



▲道路の更新工事



▲歩道の更新工事



▲5差路に「止まれ」等の設置



▲道路の補修

「前向きに、丁寧に、謙虚に」をモットーに、ひとつひとつ着実に行動してまいります。
引き続き皆様からの声をお聞かせください。日々の活動は、FBなどのSNSをご覧ください！

浦上はやと事務所

〒910-0022 福井市花月5-1-42



☎ 090-9447-2951

✉ info@uragamihayato.com



浦上はやと



公式ホームページ

浦上はやと プロフィール

- 1975年生まれ 福井市花月在住
- 京都府立大学大学院 農学研究科 修了(農学修士)
- キリンビール株式会社
- 福井市役所 [農政企画課→マーケット戦略室(現:商工振興課)→東京事務所]
- 早稲田大学大学院 政治学研究科 修了(公共経営修士(専門職))
※地方行政実務学会に所属し、行政学・地方自治について実践的に研究
- 家族/妻と娘2人
- 趣味/マラソン(フルマラソンで3時間切り「サブ3」を3度達成)
スポーツ観戦、読書、DIY

中面には浦上はやとが市議会で質問・提案した内容を掲載しています

議会では、市民の方々から伺ってきた話を基本とし、全国の自治体の政策を調査研究した上で、『市民目線に立ち、実現して欲しい事』や『中長期的に取り組んでもらいたいこと』などを質問・提案してまいります！

3月・定例会 一般質問



1. 物価高騰対策

問題意識 各自治体では、国の交付金を活用して、現金給付などの様々な物価高騰対策の事業を実施している。当市にとって有効な施策の実行を！

Q:「福井米購入応援事業」と「ふくいプレミアム商品券事業」のスケジュール、経費率、期待される効果は？

【福井米購入応援事業】

A: (農林水産部長) 今まで福井米購入応援券を配布してなかった世帯(子育て世帯、シニア以外)の5.5万世帯に、3月から順次配送予定。事務経費率は約13%。消費者に対する物価高騰対策とともに、福井米の消費拡大を図ることで生産者支援に繋げていきたい。

【ふくいプレミアム商品券事業】

A: (商工労働部長) 7月に商品券を販売し、7~9月を使用期間にする予定。全世帯(11万戸)に案内ハガキを送付し、3千円の商品券を2千円で2セット購入する事が出来る。事業経費率は約26%。紙の商品券とすることでお店にも消費者にとっても使いやすく、消費喚起につながることを期待している。

2. 自治会

問題意識 市は自治会長への負担の軽減や自治会活動全般への支援を図っていくべき！

Q:自治会の合併についての市の考え方、支援のあり方は？

A: (総務部長) 自治会の意思を尊重することを前提とし、合併の支援を行っている。平成22年に合併の補助制度を設立してから、46の自治会が合併し21自治会に再編した。来年度、小規模自治会を対象に、自治会の合併の事例発表会などを開催予定。👉 **今後注目!**

Q:市として自治会に担って欲しい役割は？

A: (総務部長) 自治会は、地域住民にとって最も身近で重要な組織であり、市と共に地域を運営する存在。市はそのパートナーとして、自治会からの相談や意見に真摯に対応していく。

Q:ごみステーションの管理運用についての、当市の考え方は？

A: (市民生活部長) 効率的なごみ収集のため、市内全域でステーション方式を採用しており、自治会に管理・運用を担っていただいている。まちの美化、ごみステーション周辺の清掃などについて、自治会の協力が欠かせない。

Q:市が自治会長に依頼している業務の軽減のための措置は？

A: (総務部長) 自治会長には、行政嘱託員として市政広報などの行政からの情報伝達、災害時の情報収集、募金への協力依頼などを担ってもらっている。これまでも、研修会の開催数や回覧物の削減を図ってきたが、来年度は電子回覧板の普及や研究会の設立など、自治会を持続可能なものとするために支援していく。👉 **今後注目!**

Q:電子回覧板の運用方針は？

A: (総務部長) 自治会の運営支援のため、今年の1月から電子回覧板「タウンデジポ」の運用を開始した。3月までには市内全地区で説明会を実施し、新年度からは本格的な運用を図る予定。スマホなどを持っていない方などのために、紙ベースの回覧物も継続する。

3. 県や市町との連携

問題意識 県や近隣市町とは連携していくべきだが、その役割や費用についての分担が曖昧になっていないか。

(1) 近隣市町との連携事業

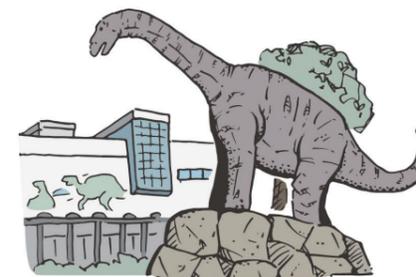
Q:来年度の当初予算での連携事業の概要および財政措置は？

A: (財政部長) 近隣市町とビジョンを策定して連携事業を実施している。来年度予算として50事業、約3.7億円を計上しており、それぞれ国の財政措置がある(22事業は普通交付税、28事業は特別交付税)。普通交付税対象事業として約1.8億円が一括して本市に交付される。特別交付税対象の事業は、事業費の8割が各市町に交付されているため、事業の内容に応じ、各市町から負担金を徴収している。

(2) 観光誘客について

Q:現在、県と福井市にはそれぞれ自治体に直営組織があり、市には観光協会、県には観光連盟という外部組織がある。それぞれの役割分担と課題、今後の組織編成は？

A: (商工労働部長) 市や県の観光部署は、計画の策定や予算措置などを実施し、市観光協会や県観光連盟はそれぞれ観光の現場での実務を担っている。それぞれの役割のもと、各機関が連携して事業を実施している。いずれの組織も、多様化する観光に対応する専門家の確保や育成が共通課題。今後の組織編成は、それぞれの組織でそのあり方を決定する事になるが、稼ぐ観光と持続可能な観光の実現に努めていく。



3月・予算特別委員会



(1) 除雪

Q:除雪におけるGPSの今後の課題は？

A: システム開発者と協議を行い、より分かりやすい表示に改善できないか検討する。

Q:音声ガイド付き録音対応の電話を導入した効果はどうだったか？

A: 一定の効果はあったと考えている。除雪業務に従事した職員へのアンケートを実施し、効果についての評価・検証を行う。

Q:市立小中学校内の除雪機の配備状況は？また、導入の負担先は？

A: 62校に計76台を配備。市で購入したものが14台、PTAなど各種団体から寄付を受けたものが62台。

【指摘】 学校の施設管理に必要な機械なので、今後の整備更新にあたっては、市の予算で必要数を整備・購入すべき。



(2) 空き家



Q:当市の空き家の概要は？

A: 空き家と思われる家は1,929軒(R4に市の実態調査)本市の空き家率は16.1%(R5の国の統計調査)

Q:市民の方からの空き家の問い合わせ内容は？

A: 年間約300件の問い合わせがあり、空き家所有者からの相談が4割、近隣の苦情が3割、空き家活用希望者からの相談が3割。

Q:所有者が分かる空き家の苦情への対応は？

A: 所有者の調査をし、所有者に対し必要な措置を取るよう情報提供、助言などを行っている。所有者による適切な管理がされていない場合は、法例に基づく立ち入り調査、助言、指導を行っている。

※その他、財産管理制度、空き家バンク、補助事業などについて質疑応答。

【指摘】 空き家は、当市にとっても重要な課題。補助や空き家バンクなどによる活用とともに、法制度に対応した管理を着実に実施していくべき。



特集 『令和8年度』の福井市のトピック ← 当初予算の主要事業

■ 小学校の給食費が完全無償化になります。

【予算額:7.4億円】 国および市の独自支援

■ 福井アリーナの整備が始まります。

【予算額:2.9億円】 埋蔵文化財の調査や既存建築の解体など

■ 母子免疫ワクチンの無料接種を開始します。

【予算額:5千万円】 乳幼児の感染症を予防するため妊婦へのRSワクチン接種を実施

■ ハピラインふくい新駅(高木町、高木2丁目)の整備が始まります。

【予算額:2.4億円】 新駅の整備費を支援、駅前広場や周辺道路の整備

■ 福井県立大のアオッサキャンパス設置(R9)に向けて、にぎわい創出を図ります。

【予算額:6千万円】 学生シェアハウスの整備支援、学生と企業をつなぐ専門人材の配置など

■ 九頭竜中学校の開校に伴い、森田地区の小中学校の2校化の整備をします。

【予算額:10.6億円】 森田中学校を森田東小学校に改修、森田小学校を大規模改修



■ 九頭竜中学校が開校(R8)【総工費:約88億円】